

第71回 日本学士院

公開講演会

THE JAPAN ACADEMY 71st PUBLIC LECTURE

2019年10月26日[土]

午後2時～5時10分

聴講無料

(各講演は質疑を含み80分)

場所／日本学士院会館 東京・上野

定員
150名

事前
申込制
先着順

講演 1

蕪村俳句の魅力 —その空間表現と時間意識—

The Charm of Buson Haiku: His Spatial Representation and Time Awareness



日本学士院会員
成蹊大学名誉教授

揖斐 高

いび たかし

専攻▶日本文学

司会 | 久保田 淳 会員

講演 2

がんとゲノム： がんができるわけ、そしてがんとの闘い

Cancer and Genome: Causes and Development of Cancer, and Fight against Cancer



日本学士院会員
公益財団法人佐々木研究所常務理事
・附属佐々木研究所所長

関谷 剛男

せきや たかお

専攻▶薬学・核酸有機化学

司会 | 須田立雄 会員

*申込方法は裏面をご覧ください。



上野の山文化ゾーンフェスティバル
講演会シリーズ

第71回 日本学士院 公開講演会

日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。本院会員のお話を聞いていただけるこの機会に、たくさんの方からのお申込みを心よりお待ちしております。

講演 1



揖斐 高 会員

東京大学文学部卒業。成蹊大学教授、成蹊大学文学部長・文学研究科長等を歴任。近世漢学研究の領域において、近世初頭から明治までの日本漢詩の展開を柏木如亭や頼山陽、菊池五山の研究を通じて明快に示した。加えて、俳諧・和文・小説などと漢詩文との接点を、蕪村らの作品から探り、近世日本文学史の叙述を精緻に深化させた。

蕪村俳句の魅力 —その空間表現と時間意識—

The Charm of Buson Haiku: His Spatial Representation and Time Awareness

正岡子規は明治の俳句革新運動の中で、『俳人蕪村』(明治32年刊)などの著作において、「客観的描写」を得意とした俳人として蕪村を高く評価した。それから40年ほど後、日本近代詩に成熟をもたらした萩原朔太郎『郷愁の詩人 与謝蕪村』(昭和11年刊)において、蕪村俳句のもっとも本質的なモチーフとして「郷愁」に注目し、新鮮な蕪村像を呈示してその後の蕪村評価に大きな影響を与えることになった。同じ江戸時代の俳句作者として並称されることの多い芭蕉や一茶の俳句と蕪村の俳句とはどこが異なるのか。「客観的描写」と「郷愁」、すなわち空間表現と時間意識という視点から蕪村俳句の魅力を論じてみたい。

司会 | 久保田 淳 会員

講演 2



関谷 剛男 会員

東京大学薬学部卒業。国立がんセンター研究所腫瘍遺伝子研究部部長、株式会社三菱化学生命科学研究所取締役所長等を歴任。DNAの特性を巧みに生かした独創的な解析技術を開発。簡便かつ高感度の変異遺伝子検出法は、細胞がん化機構の理解、がんの診断、ヒト遺伝病の原因解明等に大きく貢献した。

がんとゲノム： がんができるわけ、そしてがんとの闘い

Cancer and Genome: Causes and Development of Cancer, and Fight against Cancer

がん克服への道は、「出来なければ良い」、「治すことができれば良い」、「死ななければ良い」の3つである。

人が生きている限りDNA(ゲノム)に傷がつくことは避けられない。がんの発生は必然である。「がんが出来なければ良い」は期待できない。

がんができるわけは基本的にはゲノムレベルで解明されている。がん細胞を死滅させる分子レベルでの対応も可能になっている。一方、生き残る分子機構も明らかにされている。がん細胞の全てを殺す、あるいは、正常細胞に戻して「がんを治す」ことは極めて難しい。

生活の質が脅かされた時に、手術等でがんを取り除く医療技術の進展は目覚ましい。問題は、残存がん細胞、がん幹細胞、転移がん細胞の再増殖である。再増殖までの期間は、数ヶ月から数十年に亘る。この静止期間を長く保つ工夫で、がんと共に生きて生涯を終えれば、「がんでは死なない社会」が実現する。

「がんとの闘い」を、ゲノムを通して考えてみる。

司会 | 須田立雄 会員

◎事前にお申込みが必要です。(定員150名・先着順)

申込方法

メール、ファックス、往復はがきのいずれかの方法で、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス等の連絡先を記載して、下記にお送りください。後日、本院よりお返事を差し上げます。

※本院HP (<https://www.japan-acad.go.jp/>) からもお申込みできます。

メール gkkouen@mext.go.jp

FAX 03-3822-2105

往復はがき 〒110-0007

東京都台東区上野公園7-32 日本学士院 公開講演会係

主要駅からのアクセス

- ・JR上野駅公園口から徒歩4分
- ・京成上野駅から徒歩8分
- ・東京メトロ上野駅から徒歩8分

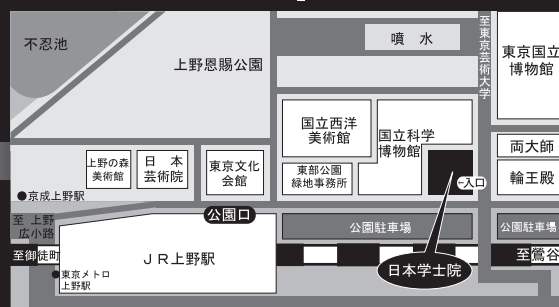
◎お席に限りがございますので、お申込みはお早めをお願いいたします。

問合せ先

日本学士院 公開講演会係

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32

TEL:03-3822-2101



※お車での来院はご遠慮ください。